

Institutional Investor 誌

「2022 All-Japan Executive Team」ランキング 5 分野で第 1 位を獲得

積水ハウス株式会社は、世界的に著名な米国の大手金融専門誌「Institutional Investor」が発表した「2022 All-Japan Executive Team」（ベスト IR 企業ランキング）の Construction 部門において、「Best CEO」「Best CFO」「Best ESG」「Best IR Professional」「Best IR Program」の 5 分野全てで第 1 位を獲得し、2 年連続で「Most Honored Company」に選ばれました。



当社は、日本、そして世界の住宅の持続可能な発展に寄与しながら、国内外の IR 活動を通じ機関投資家およびアナリストに対し、積極的に充実した情報を開示し、丁寧な対話姿勢をとることで当社の取り組みを長期にわたり真摯に開示してまいりました。

2021 年度には、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンと第 5 次中期経営計画の進捗を理解いただくため、オンラインツールを活用して面談機会を増やすなど、コロナ禍においても国内外の投資家との積極的な対話を実施してまいりました。ESG 分野においては、「※TCFD レポート」を組み入れ、マテリアリティとその特定プロセスやそれに基づく KPI を開示した「統合報告書 2021」を発行しています。また、ESG 経営を担うさまざまな取り組みを非財務情報として、財務情報と併せて網羅的に開示しており、今回の選出は、こうした取り組みなどが評価されたものです。

このランキングは「Institutional Investor」が 2013 年より実施しているもので、フェア・ディスクロージャーや経営陣の IR 姿勢などを評価基準として、世界の機関投資家、証券アナリストの投票をもとに優れた IR 活動を行う日本の上場企業を選出するものです。今回は、210 の投票機関から 510 名の投資家、ポートフォリオマネージャー、アナリストが参加し、26 セクターの合計 499 社がノミネートされました。

当社は、ESG（環境・社会・ガバナンス）経営のリーディングカンパニーを目指し、今後もステークホルダーの皆さまに共感いただけるよう、積極的な情報開示とコミュニケーションに努めてまいります。

※TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）の略で、「気候変動が企業や機関の財政面にどのような影響を与えるのか」について当社は 2019 年から情報開示しています。

※Institutional Investor のホームページ（英語のみ）

<https://www.institutionalinvestor.com/research/11633/Overall>

※積水ハウス「統合報告書 2021」：

<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/financial/library/annual/>